

4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>担当副理事長：五味渕聡志                      担当理事：鮫島弘武、金藤直樹                      委員長：立入久和                      副委員長：今村恵一郎（編集担当）、                      山口眞一（査読担当）                      委員：竹林庸雄、田村康樹、佐野博繁、權藤 宏、                      宗廣鉄平、新谷 健</p> <p>(令和6年度)                      第1回 令和06年06月12日（ウェブ会議）                      第2回 令和06年09月03日（ウェブ会議）                      第3回 令和06年11月17日（ハイブリッド型）                      第4回 令和07年01月30日～02月28日                      （電磁的方法によるML上委員会）</p> <p>(令和7年度)                      第1回 令和07年07月16日（ウェブ会議）                      第2回 令和07年11月30日</p>
<p>1. 学術集会終了後1年以内での確実な日臨整誌の発行</p>	<p>1. 令和5年度 第36回学術集会（千葉）                      発表演題の論文63篇（国際化プロジェクト論文1篇、和文一般論文5篇、特集シンポジウム論文5編、学術集会発表論文52篇）を掲載した第120号は、学術集会終了後1年以内に発行することができた（令和6年6月30日発行）。</p> <p>2. 令和6年度 第37回学術集会（熊本）                      発表演題の論文篇（国際化プロジェクト論文1篇、和文一般論文5篇、シンポジウム発表演題論文1篇、学術集会発表論文28篇）を掲載する第121号は、学術集会終了後1年以内に発行することができた（令和7年6月30日発行）。</p> <p>3. 令和7年度 第38回学術集会（三重）                      発表演題の論文篇（解説1編、国際化プロジェクト論文1篇、和文一般論文5篇、シンポジウム発表演題論文3篇、学術集会発表論文31篇）を掲載する第122号は、令和8年6月30日の発行を目途に作成しており、学術集会終了後1年以内に発行する予定である。</p>
<p>2. 日臨整誌投稿規程の検討と整備</p>	<p>1. 日臨整誌第120号（令和6年6月30日発行）及び日臨整誌第121号（令和7年6月30日発行）に収載された投稿規程集では、ScholarOne Manuscriptsを用いた投稿及</p>

#### 4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>び査読の一元化に伴い、新システムの本格運用に合わせて投稿規程を変更した。</p> <p>2. 令和8年6月30日発行予定の日臨整誌第121号に掲載される投稿規程集においても、投稿のみならず査読においても、より簡便で分かりやすい運用が可能となるよう、引続き規程の見直しおよび改訂を行う予定である。 その一つとして、現在紙媒体で対応していた著者情報をシステム上で入力し、デジタル化することとした。</p> <p>3. 投稿規程中の「著作権は本学会に帰属する」等の文言について、著作権の扱いを引続き検討することとしている。</p>
<p>3. 査読委員会の運営</p>	<p>1. 査読委員会の運営について 査読委員会は、査読委員全員で協議するのではなく、各委員が個別に論文査読を適切に行い、日臨整誌を発行することが、その活動の証左となる。 そのため、査読委員会の開催は、査読委員会の運営と同義であるとし、問題が生じない限り、今後も本委員会内で運営（開催）することとする。</p> <p>2. 査読の協力 新査読システムとなり査読者の辞退が相次いだ。令和7年度からは減少している。査読委員はJCOA会員を代表する立場であるため、論文内容を選び好みせず、対応していただきたい。</p> <p>3. 令和6年度 (1) 国際化プロジェクト論文及び和文一般論文の論文査読結果 ① 第34回JCOA学術集会（新潟） ・ 投稿総数1編、受理論文1編（学術研究助成論文）であった。 ② 第36回JCOA学術集会（千葉） ・ 投稿総数4編、受理論文4編であった。 ③ 第37回JCOA学術集会（熊本） ・ 投稿総数9編、受理3編、査読中・修正待ち4編、学術集会発表演題論文への変更2編である。 ④ 自由投稿論文 ・ 投稿総数3編、受理2編、掲載不可1編であった。</p> <p>(2) シンポジウム演題依頼論文の論文査読結果 ① 第36回JCOA学術集会（千葉） ・ 投稿総数5編、受理5編であった。 ② 第37回JCOA学術集会（熊本） ・ 投稿総数1編、受理1編であった。</p>

#### 4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>(3) 学術集会発表演題論文</p> <p>① 第36回 JCOA 学術集会 (千葉)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿総数 57 編、受理 52 編であった。</li> </ul> <p>② 第37回 JCOA 学術集会 (熊本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿総数 35 編、受理 28 編、査読中・修正待ち 6 編、和文一般論文として再投稿 1 編である。</li> </ul> <p>(4) 査読委員の退任・就任について</p> <p>① 秋田県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒田利樹委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>② 新潟県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島垣斎委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、岡田洋和会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> <li>・ 佐藤栄委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>③ 埼玉県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大滝榮典委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼したが、定員を満たしているとのことから推薦を見送るとの連絡をいただいた。</li> <li>・ 林承弘委員が退任をしたが、上記理由により推薦は依頼していない。</li> </ul> <p>④ 神奈川県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江島正春委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、久保田聡会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑤ 富山県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川岸利光委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼したが、調整中とのことで未補充である。</li> <li>・ 北川秀機委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、元村拓会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑥ 石川県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 末吉泰信委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、赤丸智之会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> <li>・ 三秋謙太郎委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>⑦ 愛知県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 濱田敏彰委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、神谷光広会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul>

#### 4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>⑧ 京都府</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山下文治委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>⑨ 大阪府</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中野恵介委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼したが、定員を満たしていることから推薦を見送るとの連絡をいただいた。</li> </ul> <p>⑩ 和歌山県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>島欽也委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、栗原良次会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> <li>林信宏委員の退会に伴い、査読委員の補充を依頼し、加藤健会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑪ 岡山県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田中裕三委員の退会に伴い、査読委員の補充を依頼し、土井英之会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑫ 広島県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>斎謙委員の退会に伴い、査読委員の補充を依頼し、沖本信和会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑬ 福岡県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>猪原史敏委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>⑭ 新たに学術委員会、学会雑誌編集委員会構成 12 名の査読委員承諾書を受理した。</p> <p>4. 令和 7 年度</p> <p>(1) 国際化プロジェクト論文及び和文一般論文の論文査読結果</p> <p>① 第 37 回 JCOA 学術集会 (熊本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投稿総数 3 編、受理論文 3 編 (1 編は学術研究助成論文、1 編は学術集会発表演題論文からの変更)であった。</li> </ul> <p>② 第 38 回 JCOA 学術集会 (三重)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投稿総数 10 編、受理論文 7 編、査読中 3 編である。</li> </ul> <p>③ 自由投稿論文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投稿総数 3 編、受理 1 編、査読中 2 編である。</li> </ul> <p>(2) シンポジウム演題依頼論文の論文査読結果</p> <p>① 第 38 回 JCOA 学術集会 (三重)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投稿総数 3 編、受理 3 編であった。</li> </ul>

4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>(3) 学術集会発表演題論文</p> <p>① 第38回JCOA学術集会(三重)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿総数36編、受理31編、修正待ち4編、会報への転記を打診中1編である。</li> </ul> <p>(4) 査読委員の退任・就任について</p> <p>① 青森県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西川真史委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>② 新潟県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐藤栄委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、伊藤拓緯会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>③ 千葉県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寺門淳委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、赤城龍一郎委員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> <li>・ 三橋繁委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、菅野真彦委員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>④ 富山県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川岸利光委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼したが、定員を満たしているとのことから推薦を見送るとの連絡をいただいた。</li> </ul> <p>⑤ 石川県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下崎英二委員の退任に伴い、渡邊孝治委員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑥ 京都府</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山下文治委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、井上裕章会員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑦ 兵庫県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡田幸也委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼については、定員を満たしているとのことから依頼をしないこととした。</li> <li>・ 北 潔委員の退任に伴い、査読委員の推薦を依頼した。</li> </ul> <p>⑧ 愛媛県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今川俊一郎委員が逝去により退任した。</li> </ul> <p>⑨ 福岡県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 猪原史敏委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、長峰隆二会員の推薦書並びに承諾書が提出さ</li> </ul>

4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>れ、査読委員の補充を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小島哲夫委員の退会に伴い、査読委員の補充を依頼し、吉本隆昌委員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑩ 熊本県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加藤悌二委員の退会に伴い、査読委員の補充を依頼している。</li> <li>・ 中村孝文委員が退任した。</li> </ul> <p>⑪ 大分県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 麻生邦一委員の退任に伴い、査読委員の補充を依頼し、山田秀大委員の推薦書並びに承諾書が提出され、査読委員の補充を行った。</li> </ul> <p>⑫ 新たに学術委員会、学会雑誌編集委員会構成 3 名の査読委員承諾書を受理した。</p>
<p>4. ウェブを活用した投稿論文・査読システムの運用</p>	<p>1. 投稿論文・査読システムの導入について</p> <p>(1) システムを活用して業務の平準化と効率化を図り、令和 6 年度から運用を開始した。</p> <p>(2) 新システムの運用に伴う課題 不測の事態に対応できず、多くの課題が生じている。</p> <p>① 事務的なチェック機能の不足 委託先業者側の習熟過程において運用上の課題が発生した。 業者と調整を重ね、円滑な運用を目指している。</p> <p>② 投稿数について 新システムを用いることで投稿数の増減は目立たなかった。</p> <p>③ 編集委員及び査読委員の習熟 令和 6 年度から編集委員がほぼ総入れ替えとなったが、習熟が早く、順調な運用が可能となっている。 査読委員に関しても、不慣れな査読システムに対応していただいている。</p> <p>④ 査読時の添付ファイル閲覧問題 査読者（本委員会構成者を除く）が、オリジナルデータの添付ファイルを確認できない問題が発覚し、オリジナルデータをメールで添付する方法での対応を依頼したが、業者側の不備も散見される。</p> <p>⑤ システムからのメール未着問題 システムから発信されるメールが届かない事象が多発し、査読者全員にメール受信確認を行った。</p> <p>⑥ 査読後のコメント処理の問題 査読後のコメントにおいて、意図しない箇所にチェ</p>

#### 4. 学会雑誌編集委員会

諮問事項	答申内容
	<p>ックが入るなどの不具合が発生し、委員長・副委員長の負担が増加した。</p> <p>委託先業者に対応を求めたが、システムのひな形を変更できないため、注意喚起の文言を追加するにとどまっている。</p> <p>⑦ 著者のシステム習熟度の問題</p> <p>著者が新システムに不慣れなため、査読者が添付ファイルを返送しても、どこにあるのかわからないという問題が多発した。</p> <p>これに対応するため、委託先業者に依頼し、添付ファイルの存在を明示する機能を追加した。</p> <p>また、再投稿時に重複投与が散見され、業者側にマニュアルを作成して添付してもらう対策を講じた。</p> <p>⑧ 委託先業者の対応遅延</p> <p>投稿後や査読処理後において、委託先業者の対応が遅れ、システムへの反映が滞る事象が頻発した。懸念事項を伝えた後、業者側で増員体制を整えたものの、依然として課題は多く、解決には至っていない。</p> <p>2. 業務内容の見直し</p> <p>現在実施されている業務内容について再度確認を行い、役職別、各投稿区分別の業務分担について検討した。</p>